

再検討結果に係る市民意見募集について

福知山市は令和5年7月に「福知山市新文化ホール基本計画」を策定しましたが、この基本計画に対して多くのご意見があったことから、文化振興の拠点として市民生活を豊かにしていくための新文化ホールは、できるだけ多くの市民のみなさまの理解を得て整備を進めていくことが大切であると考え、基本理念は大切にしつつ、機能、規模、場所、スケジュールなどについて、市民のみで組織された福知山市新文化ホール再検討委員会で再検討することとしました。

本委員会では市民の目線で再検討を行いますので、市民の皆さんもぜひご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

-福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会-

市民による選考を経た公募委員4名を含む市民10名で構成された再検討委員会で再検討を行いました。市民懇談会でいただいたご意見を踏まえた議論に加え、サウンディング型市場調査への参加、先進地視察なども行いながら再検討を進めました。

●新文化ホールの必要性

新文化ホールの整備については市民アンケートにおいて「不要」であるとの声の一部（約8%）あるものの、それ以上に「必要」（約36%）、「機能や規模、場所、費用などの検討を行ったうえで判断する」（約54%）との声があることから、再検討委員会としては市民生活を豊かにしていくために「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～」という基本理念に沿った本当の文化に触れられる新文化ホールを整備することを前提として再検討を行うことを確認しました（第2回再検討委員会）。

●新文化ホールは何のための施設か

第1回市民懇談会で市が「市民が新文化ホールでやりたいこと」を確認した結果、**市民は新文化ホールに「音楽」「演劇」「舞踊」など幅広い文化芸術の鑑賞・体験の場を求められている**ことが分かりました。再検討委員会では、**これら市民ニーズを踏まえて基本計画の再検討を行いました。**



再検討委員会の様子

●新文化ホール再検討委員会 検討経過 (傍聴者延べ100名※第8回再検討委員会時点)

開催日	主な議事等
第1回 令和6年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> 新文化ホールの検討に係るこれまでの経過について 市民アンケートの結果について
第2回 令和6年11月12日	<ul style="list-style-type: none"> 市民が求める新文化ホール及び再検討のポイントについて 他都市文化ホールについて
第3回 令和6年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> 規模で考える新文化ホール 規模についての意見の整理
第4回 令和7年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> 場所で考える新文化ホールの強みと課題 場所についての意見の整理
第5回 令和7年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> 地域別市民説明会の開催状況について サウンディング型市場調査における質問について 令和6年度の再検討内容について
サウンディング型市場調査 令和7年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地について 事業実施に関する提案等について その他、事業実施にあたって行政に期待する支援や配慮事項
第6回 令和7年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> サウンディング型市場調査について 固定席と可動席、駐車場について
他市ホール視察 令和7年7月2日	<p>(1)永守重信市民会館 (2)京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール (3)ガレリアかめおか</p>
第7回 令和7年7月10日	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地、固定席と可動席について
第8回 令和7年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> 整備費の単年度負担額（目安）について 施設機能、建設候補地について
第9回 令和7年8月28日	<ul style="list-style-type: none"> 市民意見公募について

これまでの検討経過については、
右の二次元コードよりご確認いただけます▶▶▶



再検討結果の主なポイント

ー再検討結果に係る意見募集についてー

新文化ホール基本計画の再検討については、「人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～」という基本理念を踏まえて、市民の皆さんにご協力いただきながら再検討を進めてまいりました。

再検討のポイントとしては特に市民の皆さんの関心が高い「機能、規模、場所」を中心に見直しを行いました。

これらの再検討結果について、皆様のご意見をお聞かせください。

結果

ホールの座席は段床固定席をメインとします
(座席の一部は可動席とし、席数の変更等に柔軟に対応します)

機能

当初計画

段床固定席とする（演技者の表情が分かり、舞台と客席の一体感が得られる空間）

検討経過

再検討委員会において可動席は席の揺れや軋む音を感じるという意見があり、ホールの座席は「固定席」を中心に構成することとします。

結果

客席規模は1000席を基準とします

規模

当初計画

600席以上を基準とする

検討経過

市民懇談会では「1001席～1500席」「500席～1000席」を求める声が多く、再検討委員会においても1000席は必ず確保するという意見があり、客席規模としては1000席（800席～1000席）を基準とします。

結果

第1候補を「**駅北ゾーン**」
第2候補を「**御霊公園・厚生会館ゾーン**」とします

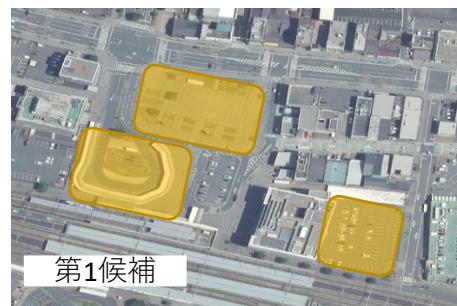
場所

当初計画

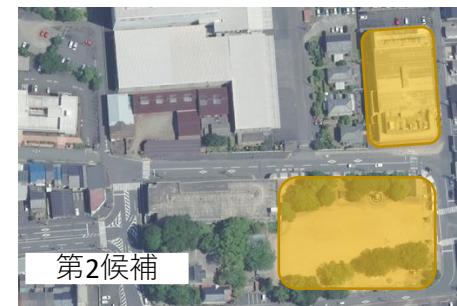
厚生会館用地

検討経過

周辺の公共施設や民間施設との連携が期待できることから、第1候補を「駅北ゾーン」、第2候補を「御霊公園・厚生会館ゾーン」とします。



第1候補



第2候補

その他機能については、当初の基本計画の内容を採用しつつ、「ベビーファースト宣言」を踏まえて、キッズスペースの充実を図ります。

また、当初計画では、公共が設計施工等を単独事業として行う「直接発注方式」を採用することとしていましたが、財政支出の平準化や民間ノウハウの導入による効率化等を図るため、公民連携手法の導入や設計施工を一括して発注するDB（デザインビルド）方式の導入なども求めることとします。

福知山市新文化ホール基本計画の再検討について～参考資料編【1/2】～

市民懇談会等での主なご意見

サウンディング型市場調査での主なご意見

当初の基本計画

市より無作為抽出の福知山市民3,000名へ市民懇談会へのご参加をお願いし、基本計画に関する様々なご意見をいただきました。

▶参加者:延べ198名
※同時に実施した開催のアンケート回答者は770名

新文化ホール整備に関する意見を民間事業者等から幅広く意見・提案を募りました。当日は3社(うち1社はオンライン参加)、書面参加は7社にご協力いただきました。サウンディングには再検討委員も参加しました。

▶協力事業者:10社

機能

段床 固定席

※鑑賞・体験、人材育成、交流、創造、安心・安全などの役割を想定

◎全体に関する考え方

子どもや市民が活躍できる場、ワクワクする施設、未永く愛されるホール、福知山のシンボルとなる施設、有名人やアイドルが来てくれるようなホール など

◎想定される活用方法

プロやアマチュア等によるライブや舞台、食・音楽等のイベント・フェス、鑑賞・展示、成人式・発表会等の市民行事、料理・習い事等の体験、地域交流・子育て交流 など

◎機能イメージ

広いステージ、大スクリーン、フレキシブルな舞台、固定椅子・階段式の座席、練習室、キッズスペース など

市民利用にもプロの公演にも対応できる機能を検討

- ✓ 他市ではおまつりや隣接公園での行事を組み合わせるホールを活用している事例もある
- ✓ イベント等がない際に、こどもの室内遊び場として活用することで施設の稼働率を上げ、地域の交流の場となることを期待できる
- ✓ 可動席の導入や舞台設備の柔軟性を持たせ、市民参加型のイベントにも興行にも対応できるようにする
- ✓ 日常的に人の出入りがある公共施設を併設し、市民が普段から来館する機会がある形式にすることが望ましい
- ✓ 再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーなど建物性能を考慮する必要がある

規模

600席 以上を基準 とする

【市民ニーズ】

多くの座席数、2000名の席、1000席以上の客席、500人以下(アマチュア)、人数は600人で十分 など

【市民懇談会】

- ✓ ①500～1000席②1001～1500席③1501席～2000席の3段階で規模についてご意見をいただいたところ、①②の規模に回答が集中
- ✓ 一部では建設費や運営費が一定の規模となるため、市の財政や市民税に及ぼす影響を心配する意見も出ていた

回答結果を踏まえ、500-1000席、1001-1500席規模に規模を絞り、再検討委員会での検討を実施

- ✓ 市民が利用しやすい300～500席前後、500～700席前後のホールを設置し、他の都市よりも稼働率を上げてはどうか
- ✓ 都市部でリアルイベントを行い、その様子をオンラインで全国へ配信する形式が増えていることから、興行中心の大型ホールの開館は全国的に控える方向にある
- ✓ 興行・観光用の800～1200席のホールと市民用の200～300席のホールの2つを建設してはどうか
- ✓ 現状と同程度の1000席規模などが想定されるが、1000席にする明確な根拠は無い
- ✓ その他、2社より「400～600席」、「800席程度」との提案があった

場所

厚生会館 用地

【市民ニーズ】

公共交通機関を使って行けるところ、駅からのアクセスの良さ、広い場所、駐車場が確保できる場所 など

【市民懇談会】

- ✓ 「新文化ホール基本計画」で挙げられていた建設候補地6か所等に関する参加者の評価は、「駅北口公園」を評価する数が最も多いものの、他の場所についても評価数が大きく差が出ることはなかった
- ✓ その他、駅前市有地、和久市(市民庭球場)、駅南など新たな建設候補地に関する多様なご意見をいただいた

追加候補地も含め、網羅的に民間事業者目線での意見を確認

- ✓ 遠くても駅から徒歩15分圏内を推奨する
- ✓ 福知山城やその城下町周辺に建設し、歴史と文化を組み合わせることで地域ブランディングを強化し、遠方からの観光客を誘致できる
- ✓ 拠点の集積化、既存顧客を含めた新たな魅力開発のため三段池エリアを推奨する
- ✓ 郊外の場合は、建設に使用する土地が広く確保できる可能性が高く、建物計画の幅が広がるメリットがある
- ✓ 駅付近であれば多くの集客を見込むことができる
- ✓ 多くの方に利用していただくため、市街地エリアを建設候補地とした方が良い

福知山市新文化ホール基本計画の再検討について～参考資料編【2/2】～

当初の基本計画

基本計画再検討委員会での大きな検討の流れ

今後の方向性

機能

段床 固定席

※鑑賞・体験、人材育成、交流、創造、安心・安全などの役割を想定

懇談会意見を踏まえ市民利用にもプロの公演にも対応できる機能を検討

- ✓ 福知山市新文化ホール基本構想で整理された基本理念は踏襲しつつ、懇談会で多く出た一定規模のプロ公演が可能な機能検討を行う
- ✓ 施設規模も勘案した機能整理を予定する

鑑賞等の快適さなどを踏まえ、固定席をベースとした検討を想定

- ✓ 民間サウンディングの中で、座席収納可能で多目的利用できる「可動席」の提案もあり、詳細を検討
- ✓ 固定席・可動席の費用比較やホールの視察、平土間の利用率などを調査し、鑑賞の快適さなども踏まえ、固定席をベースとした検討*を想定

市民利用にもプロの公演にも対応できるサイズを想定

- ✓ 市民ニーズを捉えた機能検討では、ホール等の機能水準の設定も重要
- ✓ 1,000席程度の規模を想定し、市民による発表会等に加え、プロのオーケストラ等での利用も可能な舞台サイズを想定

段床固定席をメインとし市民利用にもプロの公演にも対応できる機能整理

※基本構想で整理された基本理念・役割に加え、懇談会で多くの意見をいただいた市民利用にもプロの公演にも対応できる機能とする

規模

600席 以上を基準とする

懇談会意見を踏まえ、500-1,500席規模に絞った規模での検討を実施

- ✓ 想定される活用方法に加え、費用面なども参考に目安の検討規模について懇談会の中で意見をいただいた
- ✓ 3段階での規模設定の中でも回答が集中した500-1,000席、1,001-1,500席に規模を絞り検討を実施

800席～1,200席規模への絞り込み

- ✓ 席数規模は場所等の詳細検討にも影響するため、一定の幅を持った規模の絞り込みを実施
- ✓ 市民が求める市民利用にもプロの公演にも対応できる機能に加え、費用面も勘案し、1,000席程度（800～1,200席以内）とした範囲に絞り込み

将来的な更なる詳細検討に向け800席～1,000席規模への絞り込み

- ✓ 更なる範囲絞り込みに向け、多様な意見交換を経て、800席～1,000席規模に設定
- ✓ 規模設定の考え方としては1,000席程度を目安としつつ、市民利用のしやすさやサウンディングでの提案規模なども加味して設定

1,000席規模を基準とする

※1,000席規模を基準としつつ、一部は座席の一部は可動席とし、席数の変更等に柔軟に対応する

場所

厚生会館 用地

基本計画で検討された候補地に加え、懇談会意見等も踏まえた20候補地の検討を実施

- ✓ 基本計画で検討された候補地に、市民懇談会等で意見が出た20候補地を対象に、候補地検討を行った
- ✓ 20候補地すべてを対象に民間事業者へのサウンディングを行い、事業者目線の意見について確認した

エリアを設定し中心市街地に候補地を絞り込み

- ✓ サウンディングでは駅徒歩15分圏内や歴史文化エリアとの回遊性が重要などの提案が複数出た
- ✓ アドバイザーからの「市外訪問も想定する場合は、主要駅からの距離も重要になる」とのアドバイスも踏まえ、候補地を中心市街地に絞り込み

中心市街地の中でも、駅北ゾーン・御霊公園・厚生会館ゾーンに絞り込み

- ✓ 中心市街地エリアを駅北、駅前、駅南、伯耆丸・市役所、御霊公園・厚生会館の5ゾーンに分類
- ✓ 公共施設の機能共有、アクセス、回遊性、土地活用の難易度等の視点で第1候補を駅北ゾーン、第2候補を御霊公園・厚生会館ゾーンに設定

第1候補を駅北ゾーン
第2候補を御霊公園・厚生会館ゾーン

※駅北ゾーン：市民交流プラザ、駅北口公園、福知山駅前
※御霊公園・厚生会館ゾーン：厚生会館用地、御霊公園